

スペースシャトル コロンビア に不幸が起きました。

乗員みなさまのご冥福を心よりお祈りします。

このことで宇宙開発プロジェクトが挫折することのないことを願います。

あなたはどうか。スペースシャトル 宇宙 としげば胸がわくわくしませんか。

前のお便りのつづきをお話ししなければならないのですが、スペースシャトルとしげば、お話ししたい、聴いていただきたいことが前からありましたので、前便の続きをお預けにして、ちょっと脱線させていただきます。

昭和30年ごろ、人口衛星熱が高まっていたが、お金の無駄使い、と言う声も聞こえていました。その人口衛星がいよいよ打ち上げられて、いま、私達はどれほどにその恩恵を受けていることでしょうか。

人類がはじめて月に立った時！！ わたしはくぎ付けになって、その報道テレビを見ましたよ。地球で人間があふれるので、宇宙へ?? いよいよその準備が始まっています。

火星移住 など ほんとうに可能なのかしら?と、信じられない気持ちですが、プロジェクトは着々と進んでいるらしい!?

それまでは1回かぎりだった宇宙船^{ロケット}、それが飛行機のように、何度も宇宙を往復できるスペースシャトルというものが世に現れて、いまではもう当たり前になりました。

わたしの祖父母の代の人たちから、空を飛ぶ飛行機を見て驚いた話をよく聞きました。

神戸市青少年科学館1周年の記念講演、大林辰蔵氏のお話sp-シャトルを聞きに行きました。それはとてもとても面白かったのですが、一番印象に残ったこと2つを聞いてください。

1つは、いずれ人類が他の星に住むようになった時、「地球は、人類発祥の星」として、人々が、観光旅行に地球へやって来るだろう」と。面白いですね。

その後、新聞で、この大林氏がなくなれたことを知って、ほんとうに悲しく、残念に思いましたが、氏は、人類は宇宙へ行ける!という、強い確信に満ちておられました。大きな事業ですから、予算等に関して国のいろいろの省にいらっしゃって、お話をして説明などなさるのですが、みんな“ほほう、ほほう・・・!”といわれるばかり、と。

そしてもう1つ、最後の言葉。「宇宙には!必ず行ける」そして、それに必要なもの・・・それは。

それは何だと、あなたは思いますか。この答に、わたしは強烈な印象を受けました。

それは、必ず宇宙へ行くのだ!と、思う「気」それが絶対!それが鍵!である。と。

この一言から、わたしは限りなく大きなエネルギーを受け取りました。

「気」やる気 根気 元気 病気 強気弱気・・・これはいまここであげなくとも常識、流行にすらなっています。「思うこと」「気」これがなければ、行動は生きません。

ところで以上は前置きです。お話ししたいことが2つ有ります。